



にいがた 2 km STREET VISION

～あなたと未来を語りたい～

令和3年7月

にいがた2kmの将来ビジョンに関する勉強会



INDEX

1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢 04P

1. キーワード「人」 07P

2. なぜ「人」中心なのか？ 08P

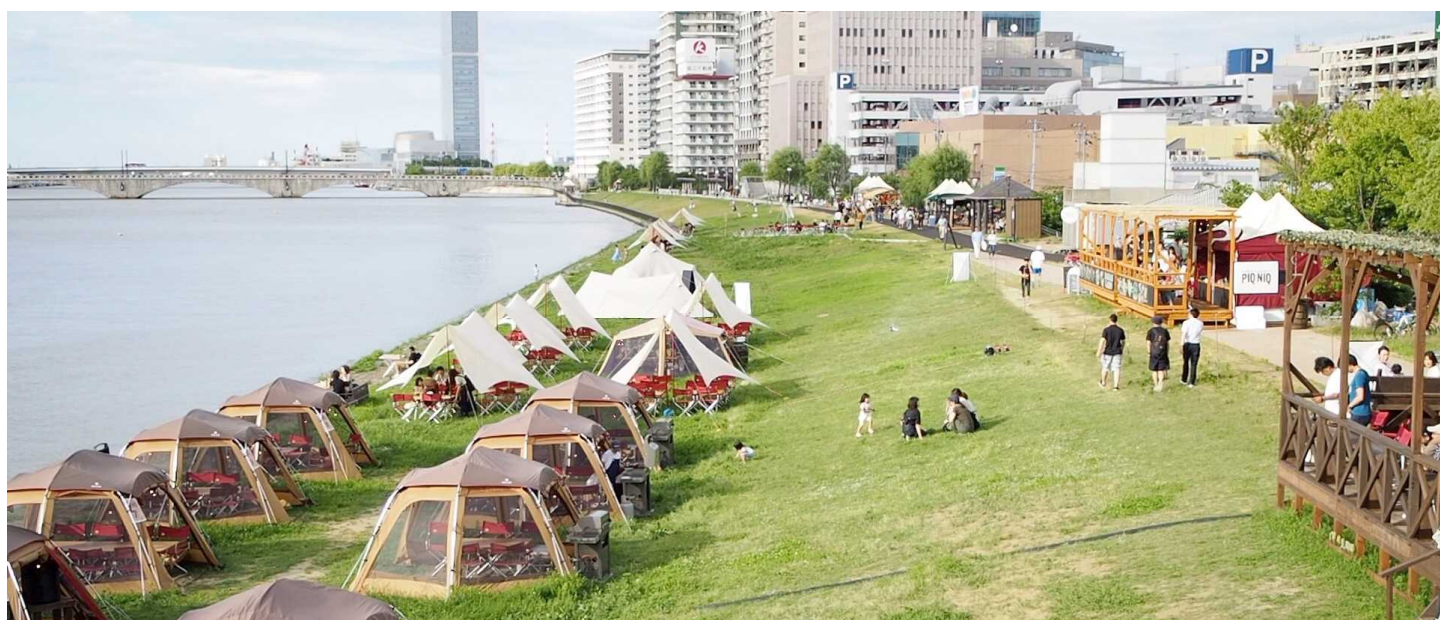
2 にいがた 2 kmの未来イメージ 10P

3 にいがた 2 km STREET VISION 15P

1. 今の情勢を踏まえた想定できる未来 15P

2. 理想から想像するより豊かな未来 17P

4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針 24P



一緒にミライを語りませんか？

「新潟にはなにもない。」

「昔は、にぎわっていた。」

そんな言葉を、あなたも言ったことはありませんか？

発展するまちの人々は“過去”ではなく“未来”を語る。

「なにもない」とはもう言わせない。

つつい未来を語りたくなる、私たちのにいがた2 km STREET VISION。



にいがた2 kmの将来ビジョンに関する勉強会とは

We aim for the innovative future of Niigata 2km

新潟駅、万代、古町を結ぶ都心軸はほぼ2 km。

2020年、新潟市はこの都心軸周辺エリアのまちづくりが進む中、人々にその変化を身近に感じてもらい、ワクワク感や期待感の醸成へとつなげていくため、親しみやすい呼称として、このエリアを「にいがた2 km（ニキロ）」と名付けました。

この動きに触発され、国、県、市、NEXCO東日本から、若手を中心とした職員有志が、一同に介し、にいがた2 kmの希望ある未来の創造に貢献したいと「にいがた2 kmの将来ビジョンに関する勉強会」（以下、「勉強会」という。）を立ち上げました。

勉強会に集った有志達は、各組織の職員としてではなく、まちづくりに関わる個人として、それぞれの人生経験や若い感性、自由な発想を生かし、人中心の公共空間の再編やカーボンニュートラルを実現するサステナブルな居心地の良い空間づくりなどのにいがた2 kmの未来に向けた提言を「にいがた2 km STREET VISION」（以下、「本ビジョン」という。）としてまとめました。

本ビジョンは、有志達の今後の活動指針とするとともに、興味を持っていただいた皆様と一緒に、にいがた2 kmの未来を創造していくきっかけとなるよう一石を投じたものです。本ビジョンが、中長期的ににいがた2 kmが目指す未来の方向性についての議論のベースとなり、地域の人々が未来を語り合うツールとなることをメンバー一同願っています。

4 組織※の若手～中堅職員が勉強会を実施

- ・ 5～6名からなる9つの班がそれぞれビジョンを検討。（R2.12～R3.3）
- ・ その後、各組織の職員有志2～3名からなる幹事会で、本ビジョンを取りまとめた。

※国、県、市、NEXCO東日本の4組織のうち、若手を中心とした職員有志が参加



勉強会の様子

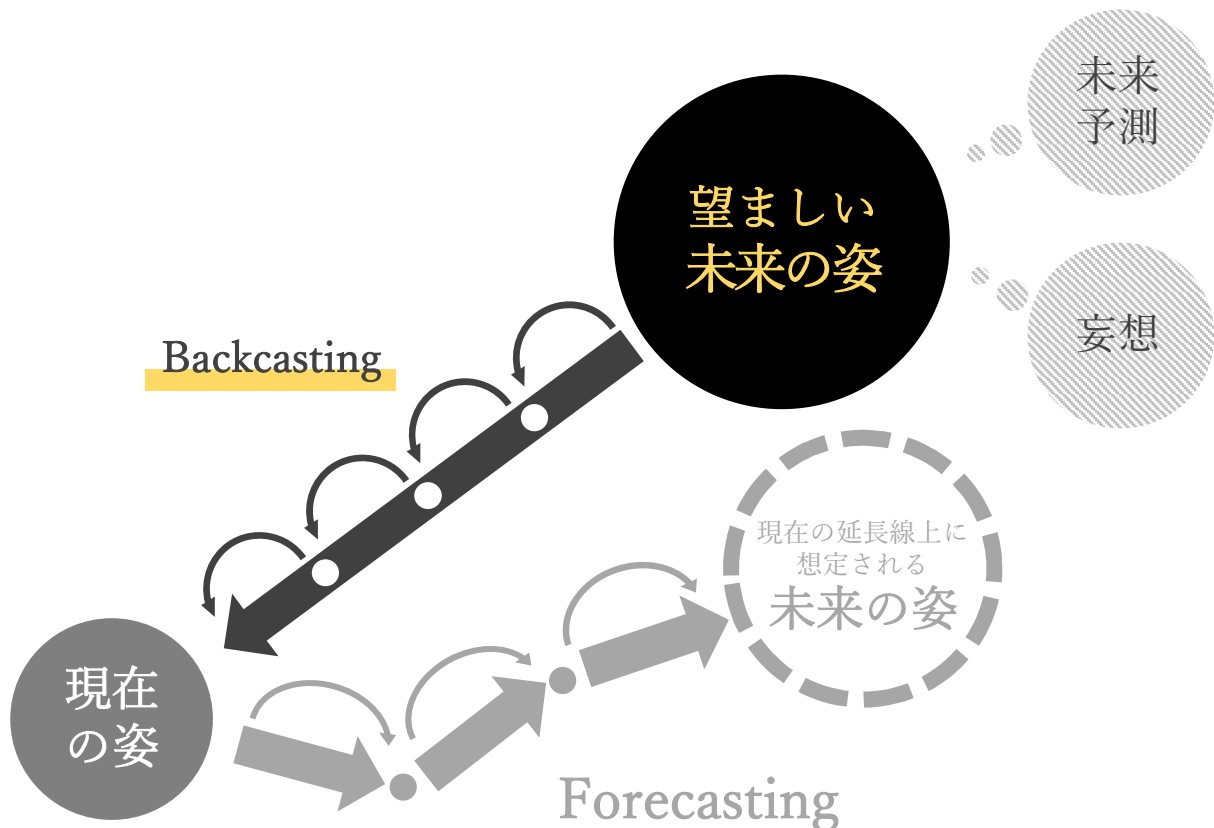


9つの班が作成した将来ビジョン

バックカスティング※で考える

こんな未来だったらいいな。を示し、そのためにやるべきことを考える。

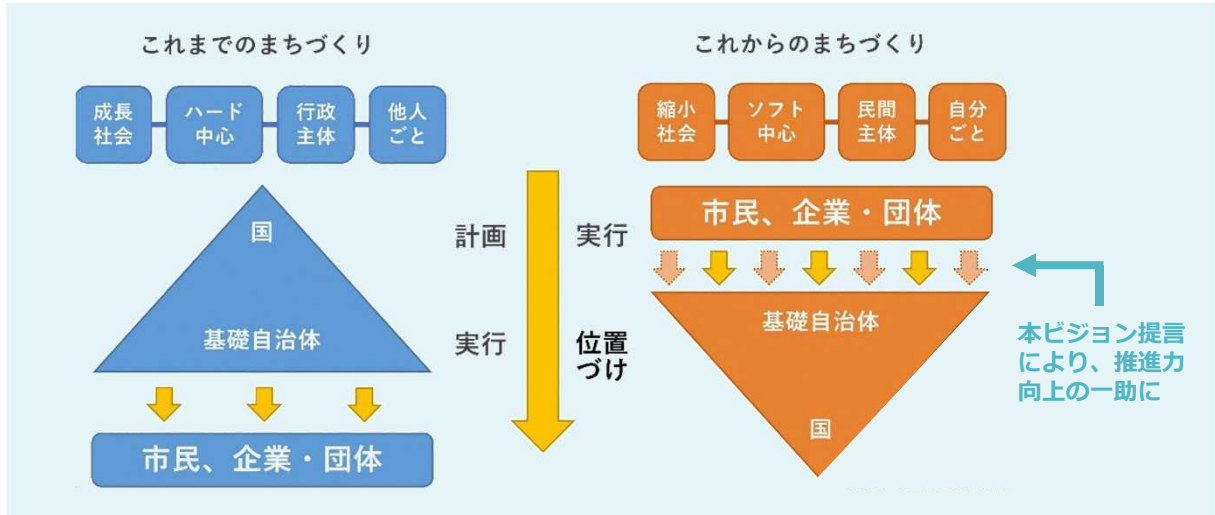
※未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想手法



1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

まちづくりの「これまで」、「これから」

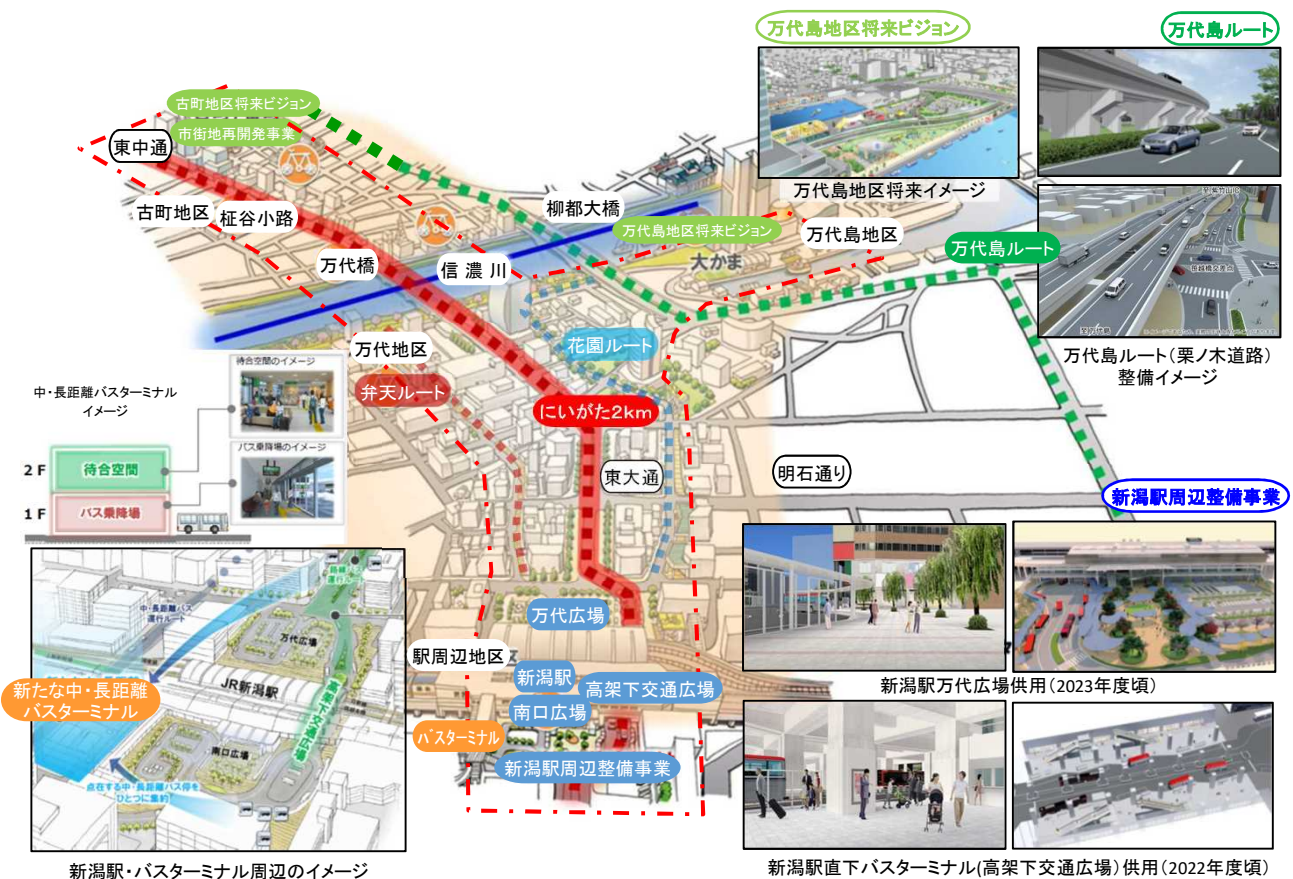
- ・ 成長時代は終わり、**縮小社会**に
- ・ 社会変化が激しい**VUCA※**の時代が到来
- ・ 行政主体ハード中心のまちづくりから、**民間主体ソフト中心**のまちづくりへ
※ Volatility (不安定)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (不透明) の頭文字をつなぎ合わせた概念



前橋市アーバンデザイン(令和元年9月 前橋市)をもとに一部加筆修正

これから新潟都心の進化が控えている

- ・ 新潟駅の高架化など新潟駅周辺整備
- ・ 都市再生緊急整備地域に指定
- ・ 新たな中・長距離バスターミナルの整備
- ・ 万代島ルートの整備



1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

選ばれる都市 新潟市

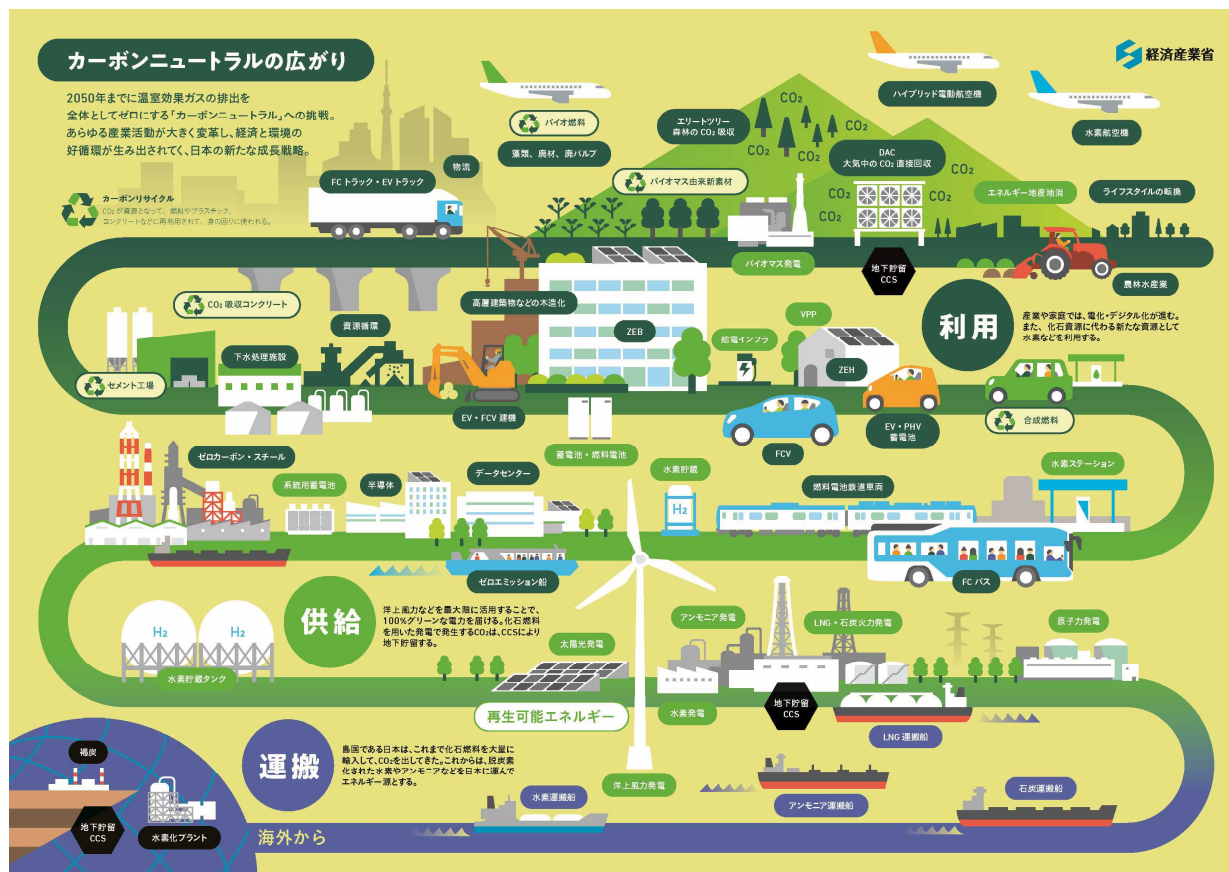
- ・「新潟にはここがある」と言える、他都市にはない高質空間
- ・「やってみたい」を誘発する自由度の高さ



写真提供：新潟市より

2050年の脱炭素社会の実現を目指す

- ・政府は、2050年**脱炭素社会の実現**を目指すことを宣言（R2.10）
- ・新潟市は、2050年**ゼロカーボンシティ**を目指すことを表明（R2.12）



出典：内閣官房HP「2050年カーボンニュートラル・全国フォーラム（R2.12）経済産業大臣資料」

1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

にいがた 2 kmエリアの各種ビジョン

いずれのビジョンも、**人を中心**としたビジョンを掲げている

**住む人も、訪れる人も、
もっとワクワクできる新潟市に**

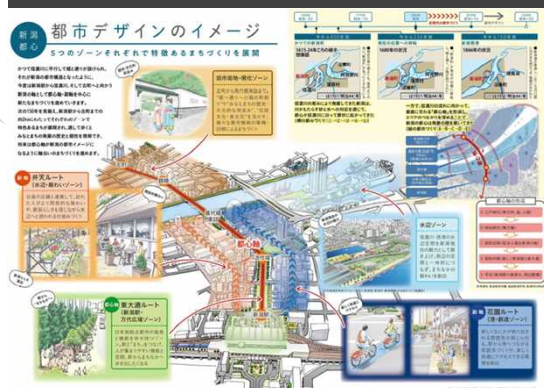
**人々が集い、にぎわいと
新しい価値を創造する万代島**

つながりを育む歴史まち 古町

② 万代島地区将来ビジョン (2019.3)



① 新潟都心の都市デザイン (2018.7)



③ 古町地区将来ビジョン (2020.4)



「人々の幸せの実現」を目標とした道路政策ビジョン

→令和2年6月に社会資本整備審議会基本政策部会の提言としてとりまとめられた道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」では、人々の幸せの実現を目標に、5つの将来像が示されている

2040年、道路の景色が変わる ～人々の幸せにつながる道路～

◆意義・目的	◆基本的な考え方
- 災害や気候変動インフラ老朽化 - 人口減少社会 - デジタルトランスフォーメーション(DX) - ポストコロナの新しい生活様式	●「SDGs」や「Society5.0」は「人間中心の社会」の実現を目標 ➡ 道路政策の原点は「人々の幸せの実現」 ●移動の効率性、安全性、環境負荷等の社会的課題 ➡ デジタル技術を活用して道路を「進化」させ課題解決 ●道路は古来、子供が遊び、井戸端会議を行う等の人々の交流の場 ➡ 道路にコミュニケーション空間としての機能を「回復」

道路政策を通じて実現を目指す2040年の日本社会の姿と政策の方向性を提案するビジョンを策定

<関係する主なSDGs>

◆道路の景色が変わる ～5つの将来像～				
①通勤・帰宅ラッシュが削減 ・テレワークの普及により通勤等の義務的な移動が激減 ・居住地から職場までの距離の制約が削減し、地方への移住・居住が増加	②公園のような道路に人が溢れる ・旅行、散策など楽しむ移動や滞在が増加 ・道路がアメニティ空間としてポテンシャルを発揮	③人・モノの移動が自動化・無人化 ・自動運転サービスの普及によりマイカー所有のライフスタイルが過去のものに ・eコマースの浸透により、物流の小包配送が増加し、無人物流も普及	④店舗(サービスの)移動でまちが時々刻々と変化 ・飲食店やスーパーが顧客の求めに応じて移動し、道路の路側で営業 ・中山間地では、道の駅と移動型店舗が住民に生活サービスを提供	⑤「被災する道路」から「救援する道路」に ・災害モードの道路ネットワークが交通・通信・電力を途絶することなく確保し、人命救助と被災地復旧を支援

公園のような道路 マイカーを持たなくても便利に安心して移動できるモビリティサービス 店舗(サービスの)移動

出典：国土交通省HP「2040年、道路の景色が変わる」

1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

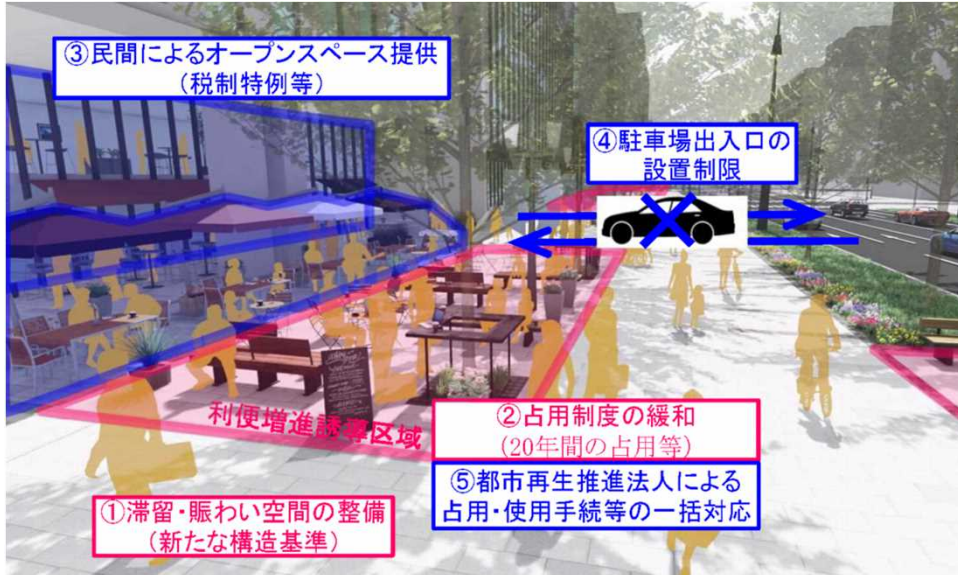
<< キーワード「人」 >>

【兆し】滞在できる道路を実現するための制度

- ・歩行者利便増進道路（ほこみち）制度 | [改正道路法](#)
- ・滞在快適性等向上区域 | [改正都市再生特別措置法](#)

⇒滞在できる道路を体感できるように

☆さらに、道路占用許可基準の緩和する特例措置（コロナ占用特例）



出典：国土交通省HP「歩行者利便増進道路(ほこみち)制度の詳細説明」

令和2年6月～
沿道飲食店等の
路上利用の特例



市内6箇所では実施

万代ガルベストンテラス社会実験

コロナ占用特例による社会実験で憩いの場が創出された。



出典：万代シテイ商店街振興組合HP

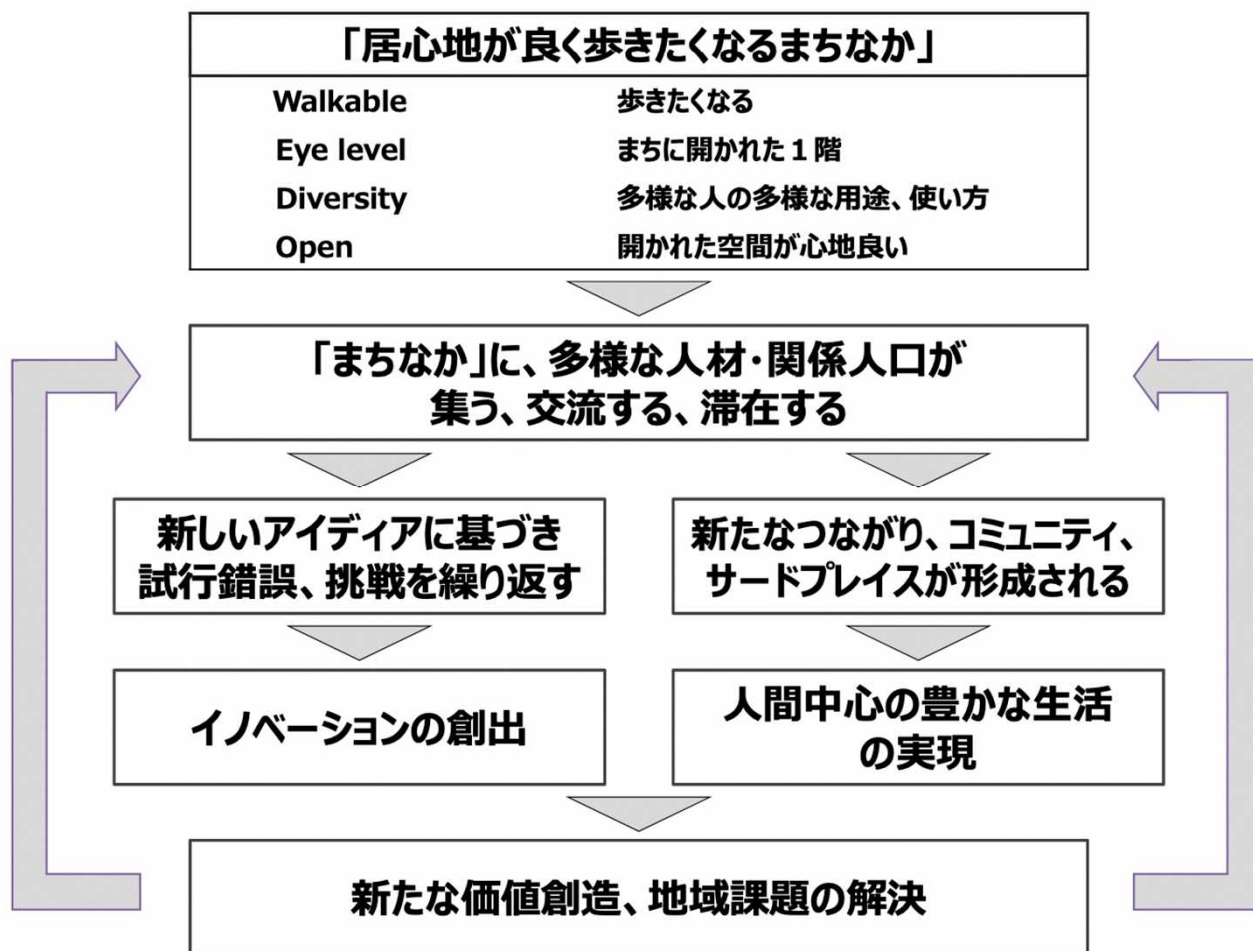
1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

〈〈 なぜ「人」中心なのか 〉〉

■ 新たな価値創造、地域課題の解決につながる

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を作ること

イノベーションの創出と人間中心の豊かな生活が実現できると整理



「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」提言(概要)より抜粋
令和元年6月 国土交通省都市局資料

1 にいがた 2 kmを取り巻く情勢

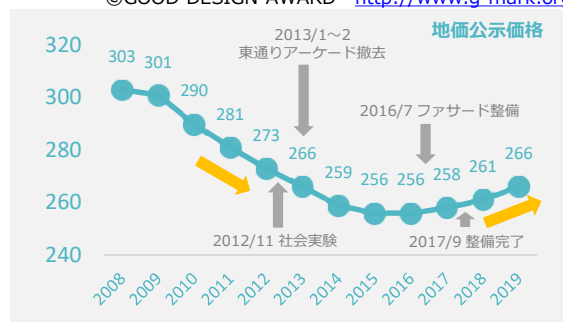
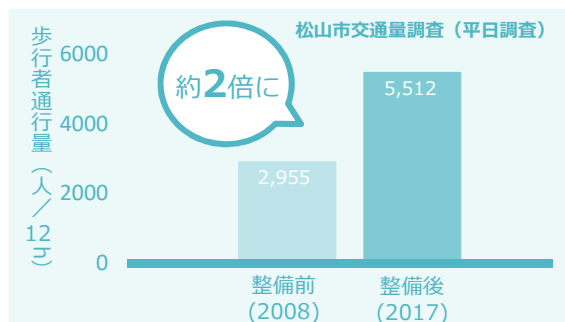
〈〈なぜ「人」中心なのか〉〉

「人」中心で、エリアの価値があがる

愛媛県松山市花園町通りでは、車道を減らし、歩道を拡幅したことで
歩行者が約2倍増、地価も上昇 ⇒ 民間投資が促される好循環へ



©GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org>



「人」中心で、生活が豊かになる

道路は多様な人が行き交う場所。たたずむことが出来ると、新たな出会いや他者との関わりにより生活が豊かになり、イノベーションの創出にもつながる

■ やってみた ⇒ BANDAIBASHI Coffee stand (R2.10、R3.4)



R3.4 撮影



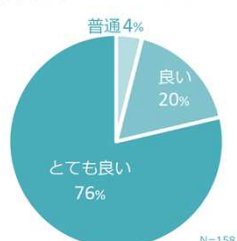
R3.4 撮影

■ アンケート結果

(R2.10時点)

- ・ 9割以上が取り組みを評価
- ・ 景観に価値を感じる
- ・ 滞在空間にも魅力を感じる
- ・ 会話を楽しんだ人も
- ・ 緑も魅力

取り組みはいかがでしたか？



よい（おもしろい）と感じた内容は？（複数回答可N=158）

1. 場から見た景観 ————— 109(69%)
2. 飲食店事業者の販売スタイル ————— 91(58%)
3. 椅子やテーブルなどの滞在できる環境 ————— 78(49%)
4. 飲食物の味 ————— 76(48%)
5. 周辺の環境に目を向けるきっかけ ————— 64(41%)
6. 萬代橋自体 ————— 46(29%)
7. 自分の時間を過ごせた ————— 44(28%)
9. 観葉植物 ————— 33(21%)
8. 場に居合わせた人との会話 ————— 25(16%)

2 にいがた 2 kmの未来イメージ

■ わたしたちが目指したい理想のにいがた 2 km

にいがた 2 kmを人の視点から「どんなエリアにしたいか」考えました。



出典：新潟市HP『新潟都心のまちづくり「にいがた 2 km」』

2 にいがた 2 kmの未来イメージ

安心して暮らすことができる

- ・交通事故の心配をしないで歩ける
- ・まちなかで安心して子育てができる

安全・安心



写真：Shutterstock.com

子育て

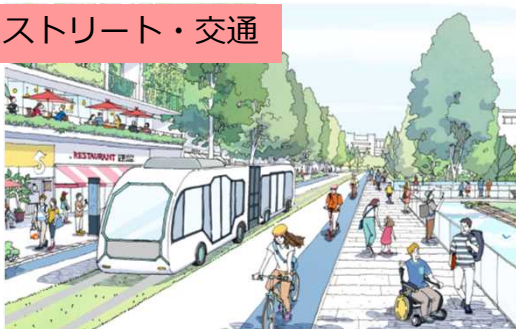


写真提供：新潟市より

だれもが便利で快適である

- ・車がなくても誰でも快適に移動できる
- ・まちを眺めながら仕事（勉強）ができる

ストリート・交通



出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」

しごと



写真：Shutterstock.com

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

安全・安心な人中心の歩行空間

人がまちの中心を堂々と歩ける空間は、交通事故の心配が少なく、子どもからお年寄りまで、安心して自分のペースで歩くことができる。

ウォーキングする女性、シャボン玉を追いかけて走り回る子ども達、ちょっとした休息でベンチに腰を下ろす老夫婦。そこには、人中心のゆったりとした時間が流れている。まるで公園のような空間は、災害時に避難場所として活用される。

子ども同士が自由に遊べる場所がある

古町の西堀ローサには、子どもの遊び場ができていて、明るくて面白い遊具がたくさんある。いつしか子どもたちの口からは「ママ、古町へ行きたい、連れてって」という言葉を耳にする日が多くなった。

いつしか、古町に移り住んで、暮らしたい、子育て世代にとって、古町は憧れの場所になっている。仕事中でも休みの日でも手軽に預けられるし、自動運転送迎バスが家まで子どもを送り届けてくれて、本当に便利な場所なのだ。

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

多様な移動手段が選べるまちなか

自動車の通行が制限され、東大通を通れるのは歩行者と路面を走行する公共交通機関のみの空間になっている。

歩行者にとって安全で安心な空間が広がり、これまで車道だった部分には、オープンカフェなどを営む魅力的なお店が増え、都心商業地が活気づいている。また、公共交通の定時性がさらに向上し、ユニバーサルデザインで統一された駅を誰もがより自由で便利に利用できる。

ワークスペースやカフェがたくさんある

気持ちいい晴れの日には、柳の木の下で仕事をするのが、私のルーティーン。風を感じながらする作業は、心地良く、とてもはかどる。世の中は、すっかりリモートワークが定着し、誰もが自由に好きな場所で働けるようになった。

妻は最近できたオープンカフェで友達とお茶をしている。少し前までは、外で過ごす人なんてあまりいなかったけれど、新潟ではこれが当たり前になった。まちにはカフェや街路樹、芝生、涼を感じられる水路があることで、暑い新潟の夏も比較的過ごしやすくなった。

2 にいがた 2 kmの未来イメージ

人に自慢したくなるようなワクワクがある

- ・写真や動画を発信したくなる
- ・鉛色の空を吹き飛ばす「熱」と「光」

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

サウナ



出典：北こぶし知床ホテル&リゾートHP

夜景



写真：Shutterstock.com

多様性を受容し、育む

- ・多様な人が思い思いに過ごせる居場所がある
- ・多様な人が集い、使い、熱狂する

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

居場所



写真提供：株式会社グランドレベルより

にぎわい



写真：Shutterstock.com

みなとに集まりたくなるキラコンテンツ

遊びながら健康になりたい！今日も萬代橋下流にある日本最大の公共サウナには、多くの人が集まっている。サウナの後、信濃川にダイブ？頭もすっきりしたしこのままここで仕事するか。併設されたシャワールームではランナーやスイマーが楽しそうに会話している。

サウナは冬でも楽しめる。気分が沈みがちな冬でも幸せな気持ちになれるコンテンツがあるみなとに人は集まる。

新潟の輝く夜の光に人が集まる

新潟の人は、雨や雪が止んだだけで「晴れた」という。長い冬の曇り空に耐え、晴れを待ち望んでいるから、ちょっとした陽射しがあるだけで幸せになれる。

だから、いっそのこと、夜も灯りで幸せを感じたい。古町には柳の木、万代は銀杏の木が夜にライトアップされている。昼と夜の異なる二面性が、まちの表情に変化をもたらし、異空間を演出する。

多様な人がありのまま過ごせる

新潟市には多様な人を受け入れる、みなとまち文化が息づいている。にいがた2kmには、おしゃれなカフェや昔ながらの喫茶店が多く、多様な世代や趣向の人を受容する空間があちこちに存在する。官民協働によるベンチ整備によって、日本一ベンチが多いまちとして有名になった。

また、川や海を感じることでできる風景づくりが今もなお続いている。訪れる人が思い思いに過ごせる場所が、このまちにはたくさんあるのだ。

駅前には市内外から多様な人が集まる

今日は、新潟を拠点とするスポーツクラブチームの世界一決定戦の日だ。そんな日は、家でVR観戦するのも良いが、やはり知っている仲間とビールを飲みながら大声で応援したい。とりあえず、新潟駅前の広場にいこう。

普段は、部活で使われていたり、セミナーが開催されている場所だけど、休日はイベントやパブリックビューイングをやっている。行けばきっと知り合いもいるだろう。新しい外国の友達も増えるかもしれない。感動する瞬間を分かち合えるといいな。

2 にいがた 2 kmの未来イメージ

やりたいことができる

- ・いつも新しいチャレンジが起こっている
- ・夢を叶える第一歩を踏み出せるまち

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

商業・産業



写真：Shutterstock.com

誰でもチャレンジができる環境がある

新潟の良さは、山、川、海の豊かな自然環境が近接していて、四季折々の美味しい食材を堪能できること。その食材をその土地で味わう、地産地消のあり方が今まで以上に贅沢で豊かなことであることが再認識されている。

まちでは、定期的にマルシェが開催され、とれたての野菜や、地元食材を使用した味自慢の加工品を販売している。これまで出店をためらっていた生産者でも手軽に直販できる環境が、新潟には整っている。

芸術文化



写真：Shutterstock.com

自己表現できる場所がある

自分の夢を叶えるために上京する時代は終わった。個人で発信する時代だから、上京しなくても、自分の感性を認めてくれる人が世界中にいる。そんなことができるのも、自由に表現できる場所を提供してくれる新潟のまちがあるから。

このまちでは、やりたいことにチャレンジできる。他のまちで駄目と言われていたことも、新潟に来れば、表現したいことを実践できる。いつしか世界中から有望な若者が集まるようになった。

子どもも大人も学び成長し続ける

- ・子どもにとって一番の学びの場は「まち」
- ・変化し続けるまちには、変化し続ける大人が集う

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

社会教育



写真提供：NPO法人自治経営より

まちなかで目一杯楽しみながら学ぶ子どもたち

新潟の将来を担う人材は、今まさに新潟で暮らしている児童・学生達。彼らが地元へ愛着をもち、地元を誇り、地域に関わっていくことが、新潟の未来にとって、とても重要。

そんな担い手となる人材の育成は、学校から飛び出し、まちで楽しく過ごしている大人との交流の中で行われる。カッコいい大人を見て育った子どもたちはいつか自分もここで活躍したいと目を輝かすようになる。

学び・交流



写真：shibuya-univ.net シブヤ大学

2 kmに集う自由に学ぶ大人たち

もちろん、子どもだけではない。社会変化に対応するため誰もが学び続ける社会に変わった。にいがた 2 kmに集う大人たちは様々な場所で様々な学びを通じて、組織を飛び越えたコミュニティを形成し実践している。それはビジネスだけでなく生き方も学ぶ自由な場だ。

にいがた 2 kmで働く大人は、交友関係が広くなり、多くの無形資産を築くことができる。ここで働くことは新潟のビジネスパーソンにとってステータスなのだ。

2 にいがた 2 kmの未来イメージ

サステナブルで心地よい

- ・ゼロ・カーボンを達成する様々な仕掛け
- ・廃棄ゼロの世界一美しいまちなかへ

ゼロ・カーボン



写真：Shutterstock.com

廃棄ゼロ



写真：Shutterstock.com

THAT'S NIIGATA

- ・食と農と美食のみなとまち「NIIGATA」
- ・SAKEのアミューズメントシティ「NIIGATA」

食



写真：Shutterstock.com

観光



写真提供：Fun ! PublicSpace ! Yokohamaより

再生可能エネルギー、モビリティによる ゼロ・カーボンの実現

新潟は再生可能エネルギー100%、カーボンニュートラルを実現した。また、建築物の多くは県産の木材を使い、高断熱化によって暮らす人々の健康寿命も延伸した。

2 kmエリア内でエネルギーの地産地消ができており、地域のお金が域内で循環することで経済も発展してきた。さらに災害時でもすぐに復旧が可能なので安心して暮らすことができています。

2 kmでは資源も経済も循環している

にいがた 2 kmでは持続可能な発展が進む。ここでは物も経済も循環するサーキュラー・エコノミーが市民にも浸透していて、廃棄ゼロに共感する市民が多く集っている。まちなかに共同コンポストがあり、住民のコミュニケーションの場にもなっている。

地域のものを買う意識が高く、ネットでは得られない体験やストーリーにお金を払う文化が根付く。そのため、他の地域にはない上質なものを売る人が集まり、売り手も買い手も気持ちの良い経済が息づいている。

世界一の“おいしさ”を体感できるまちなか

新潟市民は古来から豊かな食料資源を享受していたことから、食にうるさい人が多い。結果、まちなかの飲食店はどこに入ってもおいしいと評判なのだ。クリエイティブな農家やシェフが増加したことで、農業と飲食業は、稼げる産業として注目されている。

ここでは、地酒や地ビール等が試飲、購入できるお店が立ち並び、夜は一部区間がフルモール化し、路上のテーブルを囲んで辺りが華やかに活気づく。いまや、新潟の豊かな食を堪能できる新時代のみなとまちとして、新潟は全世界から注目されている。

世界唯一のSAKEシティとして 国内外から人が集まる

世の中は余暇時間を楽しみに国内外を移動する人が以前より増えている。新潟を訪れる人も以前より多くなった。お目当ては、もちろん日本酒。日中からSAKEバイクで移動しながら酒を飲めるのが、新潟の名物になっている。テクノロジーで言葉の壁はなくなり、世界中を移動する外国人とコミュニケーションが取れる。にいがた 2 kmで暮らすように旅行するスタイルが定着している。

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいことが できる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいことが できる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

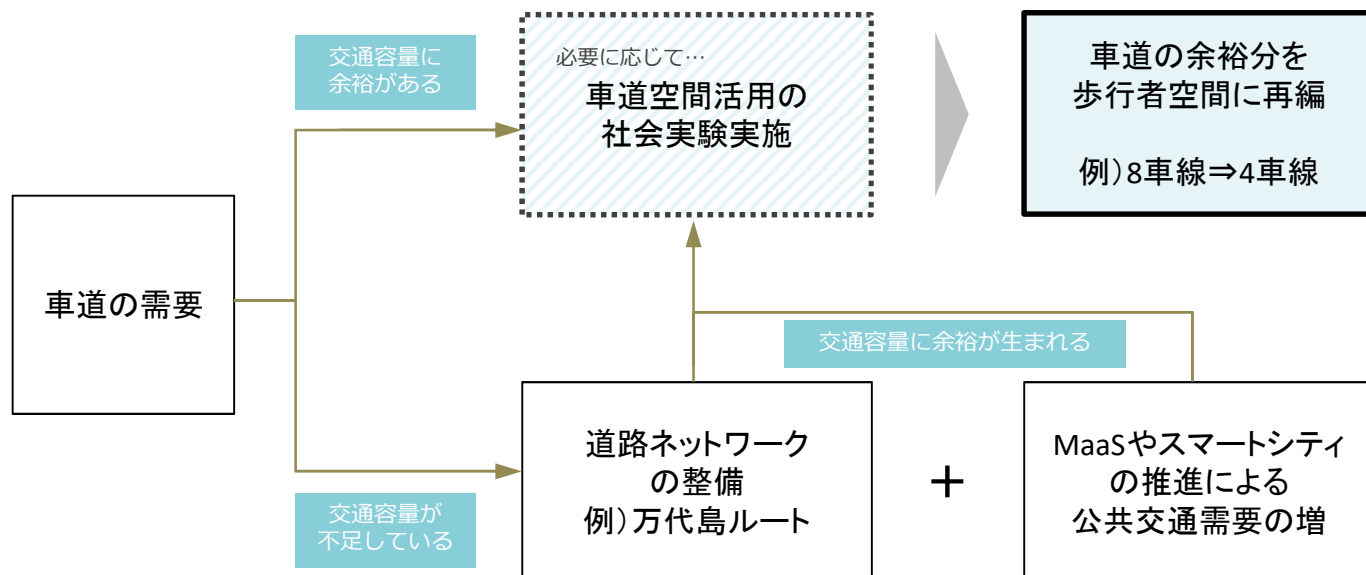
3 にいがた 2 km STREET VISION

〈〈 今の情勢を踏まえた想定できる未来 〉〉

人中心の空間拡大に向けた一つのアプローチ

- ・車線の空間活用においては、交通容量※がひとつの指標となる
- ・公共交通の需要を高めることで車道空間活用の可能性を拡大

※車道における通過できる自動車の最大数



【道路施策】

通過交通の転換（万代島ルートの整備）

- ・新潟市中心市街地とバイパスをつなぐ都市計画道路
- ・渋滞、事故等の課題が多く、整備効果が高い2区間（栗ノ木道路・紫竹山道路）で事業中

⇒整備が完了することで、都心部の通過交通の転換が期待

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ



新潟国道事務所資料より作成

3 にいがた 2 km STREET VISION

<< 今の情勢を踏まえた想定できる未来 >>

新潟で最も移動が便利で簡単なエリアに

- ・マイカーで移動するより便利で楽しい交通システム
- ・高齢者や子どもも一人で外出しやすいまちなかに
- ・アプリひとつですべてのサービスを利用できる

【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいことが できる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

MaaS (Mobility as a Service)

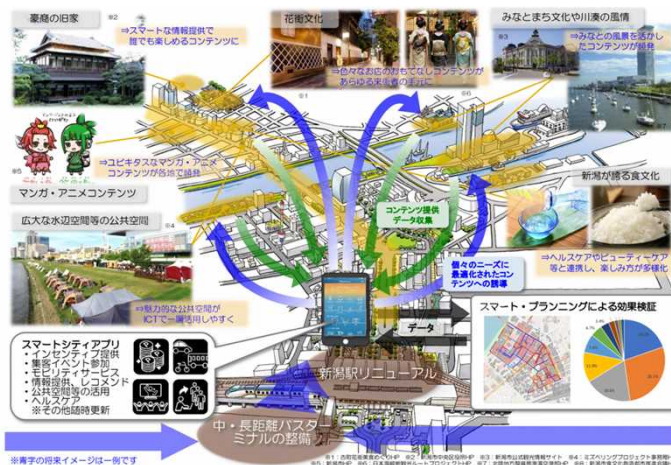
バス、電車、タクシーからライドシェア、シェアサイクルといったあらゆる公共交通機関を、ITを用いてシームレスに結びつけ、人々が効率よく、かつ便利に使えるようにするシステム。目的地に至るすべての交通手段のなかから最適な組み合わせをAIが検索して、専用アプリに表示する。利用者はそれらのなかから選択し、必要な予約や手配に加え、決済もひとまとめにできる。



出典：国土交通省HP「日本版MaaSの推進」

都心部のスマートシティ化の推進

公民が連携し、新潟市の地域課題の解決を図るため、ICT等の技術を活用し、にぎわいのある持続可能な都市（スマートシティ）を目指す。



出典：新潟市HP「スマートシティ協議会実行計画概要版」

車道の余剰空間を人中心の空間へ再編（イメージ）

- ・にいがた 2 km各エリアで、今後人中心の空間創出が期待される

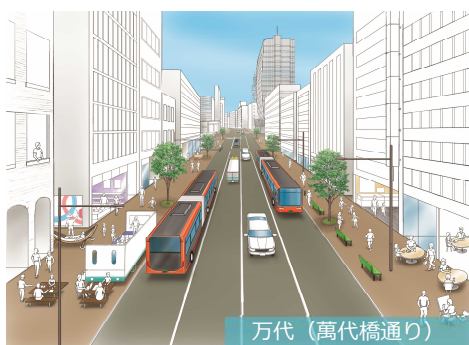
○ 各エリアのイメージパース

- ・万代広場 8車線⇨4車線
- ・万代、古町 6車線⇨4車線

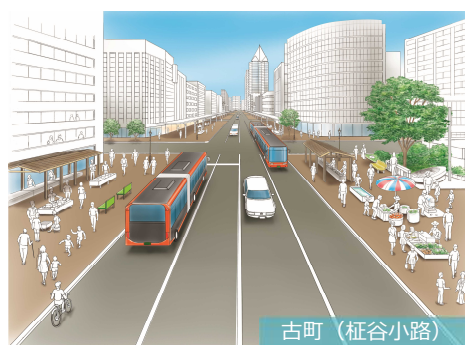
車道の需要を踏まえ、実現できるところから実施



万代広場（東大通）



万代（萬代橋通り）



古町（榎谷小路）

3 にいがた 2 km STREET VISION

《 理想から想像するより豊かな未来 》

【時代の潮流】100年に1度の変革期 モビリティ革命

- ・移動が**自動化**し、安全・便利に
- ・短い移動は手軽なモビリティで楽しく快適に
- ・人、モノの移動は**無人・上空での輸送**も可能に



写真提供：トヨタ自動車株式会社より



出典：経済産業省HP「Drone Fund」



出典：Shutterstock.com



出典：Shutterstock.com

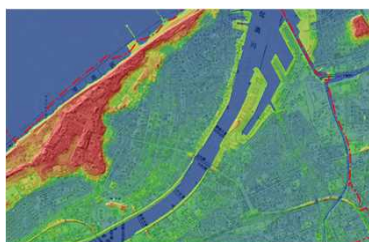
3 にいがた 2 k m STREET VISION

《 理想から想像するより豊かな未来 》

自転車に乗りたくなるにいがた 2 k m

にいがた 2 k mはほぼ平野（自転車に適している）

- ・歩行者、自転車、車の通行分離
（自転車専用道の整備など）
- ・シェアサイクルの導入



出典：新潟市標高データ



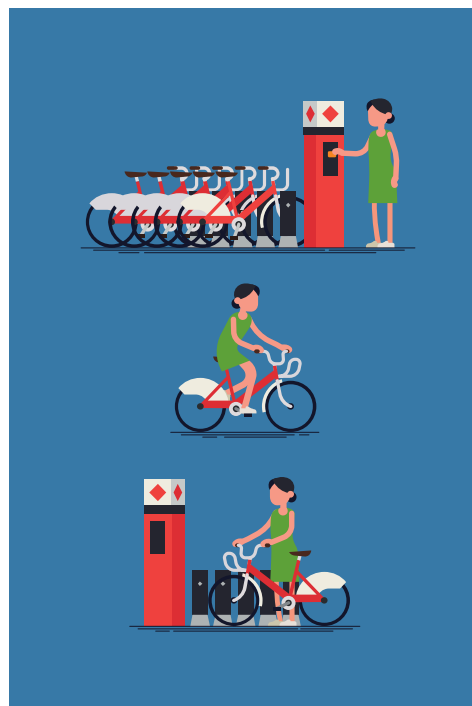
写真：Shutterstock.com



出典：Shutterstock.com

【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ



出典：Shutterstock.com

シームレスな移動を実現するモビリティ・ハブ

- ・あらゆるモビリティが集まるハブをつくる
- ・マイカーで訪れるより便利なにいがた 2 k mに

モビリティ・ハブ

様々な交通モードの接続・乗換拠点となる施設。



モビリティ・ハブイメージ
出典：国土交通省HP「2040年、道路の景色が変わる」

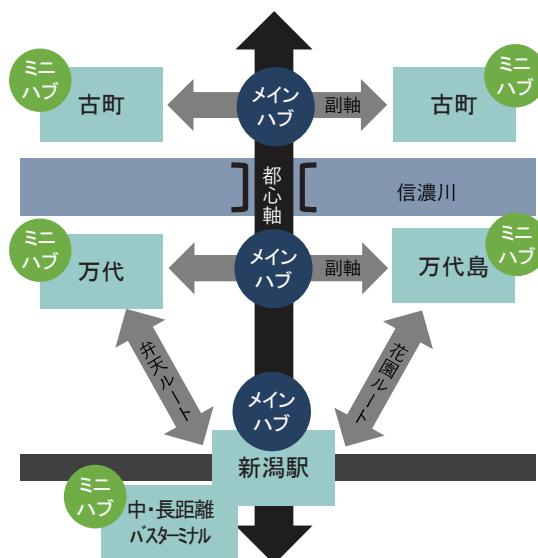
BRT シェアサイクル 小型EV車
+

にいがた 2 k m内のBRTの低料金化、周辺駐車場との連携

【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新潟らしさ

【にいがた 2 k m版モビリティ・ハブの適用イメージ】

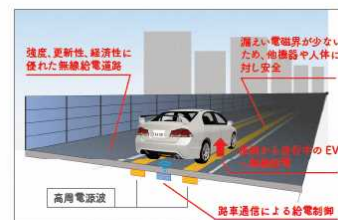


3 にいがた 2 km STREET VISION

<< 理想から想像するより豊かな未来 >>

道路空間におけるゼロ・カーボンの推進

- ・ゼロ・カーボンを実現するため、EVやFCV中心に
- ・道路上や公共空間の緑化を推進



国土交通省が技術研究開発支援を行っている電気自動車への非接触給電システム
※ 2020年に2件の技術研究開発を支援
出典：大成建設資料



路面電車の軌道敷を芝生で緑化
(鹿児島県鹿児島市)

出典：国土交通省HP「2040年、道路の景色が変わる」

【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいことが できる
学び成長 できる	持続可能 である	他にはない 新潟らしさ

交通事故のない道路「地下空間」の活用

- ・多様な人が使いたくなる空間にリノベーション
- ・災害時の拠点として、食料の備蓄も

2 kmエリアの地下空間



他都市事例(札幌地下歩行空間チ・カ・ホ)



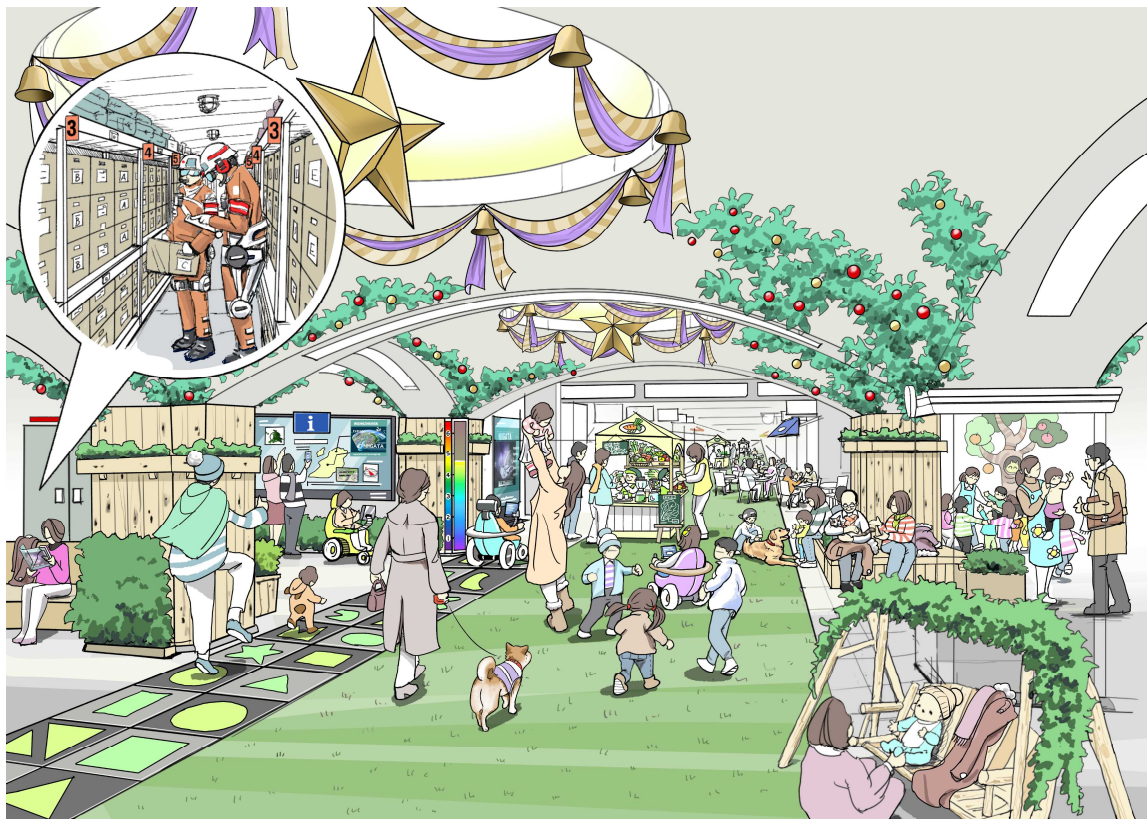
出典：札幌市HP「都心部における地下歩行ネットワーク検討委員会」
札幌市HP「札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)開通10周年」



3 にいがた 2 km STREET VISION

〈〈 理想から想像するより豊かな未来 〉〉

豊かな未来イメージ（西堀ローサ）



【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新海らしさ

都心軸のトランジットモール※化

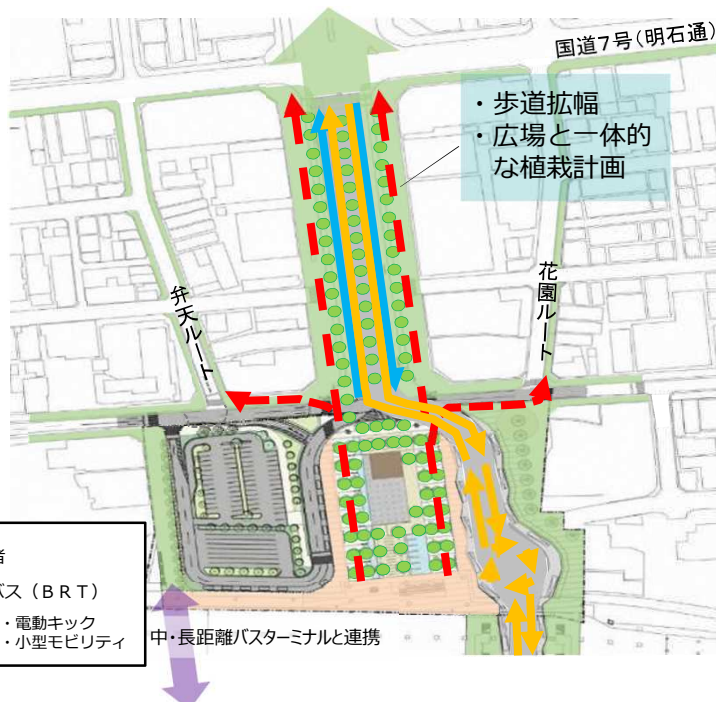
- ・自動運転化されたBRTが走行
- ・自転車や電動キックボードの専用道を整備
- ・交通事故がゼロになり安心して歩ける空間に



トランジットモールイメージ
出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」

※トランジットモールとは

都心部の商業地等において、自動車の通行を制限し歩行者と路面を走行する公共交通機関とによる空間を創出し、歩行者の安全性の向上、都心商業地の魅力向上などを図る歩行者空間。



3 にいがた 2 km STREET VISION

〈〈 理想から想像するより豊かな未来 〉〉

豊かな未来イメージ（古町・榎谷小路）



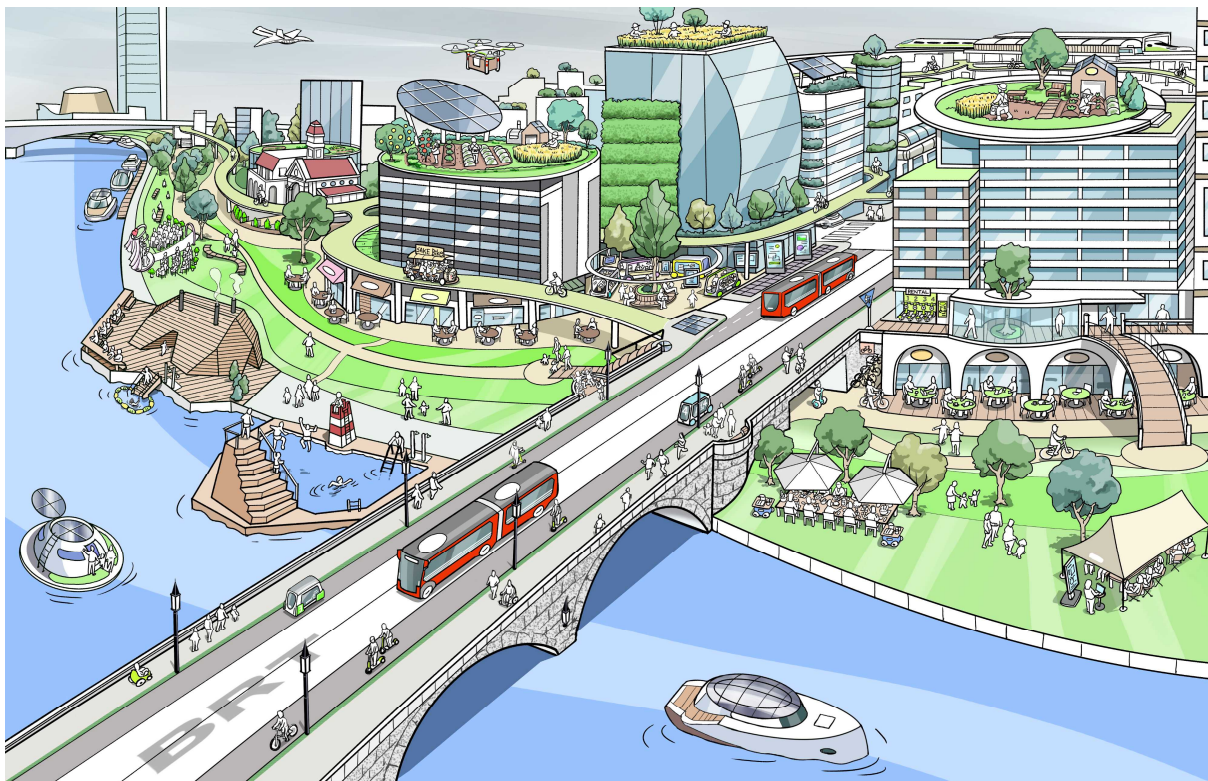
豊かな未来イメージ（万代シティ）



3 にいがた 2 km STREET VISION

〈〈 理想から想像するより豊かな未来 〉〉

豊かな未来イメージ（萬代橋周辺）



豊かな未来イメージ（東大通）



3 にいがた 2 km STREET VISION

〈〈 理想から想像するより豊かな未来 〉〉

目的地になる道路空間づくり

- ・他都市にはない高質な道路空間に人が集まる。
- ・大阪市御堂筋将来ビジョンでは、長期目標としてフルモール※化を目指している。

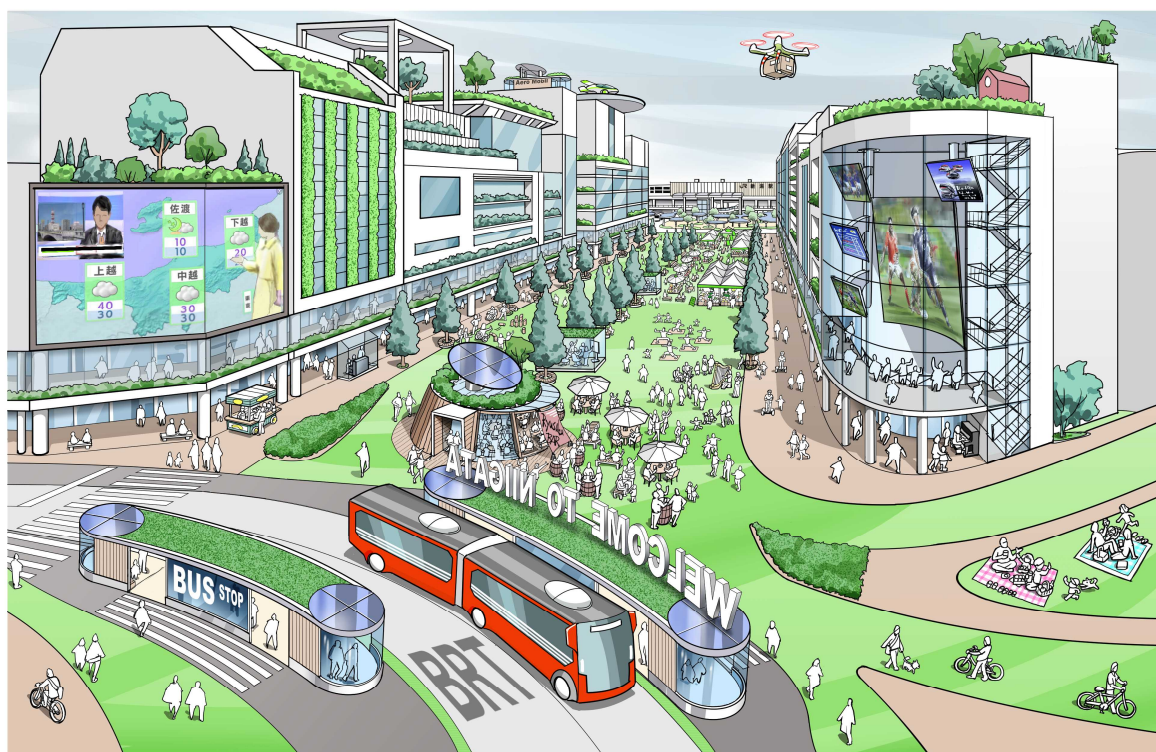
【道路施策】

安心できる	便利で快適	ワクワクする
多様性がある	理想の にいがた2km	やりたいこと ができる
学び成長 できる	持続可能で ある	他にはない 新蜀らしさ



出典：大阪市HP「御堂筋将来ビジョン」

より豊かな未来イメージ（流作場五差路・フルモール）



4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針

ロードマップ



未来をつくるのも「人」。関わる人が増えることが、景色を変える近道。

まずはここから①（使ってみよう）

- ・勉強会メンバーが、民間とともに公共空間等を使ってみる
 - ・本ビジョンのプロトタイプを体感してもらう
- ⇒すでに動き出しています！



4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針

まずはここから②（知ってもらい、語りたくなる仕掛け）

- ・本ビジョンをあの手この手で発信（WEB、動画、SNS、出張講演）
- ・SNSをうまく活用して語り合いたい「#新潟の未来を語ろう」



出典：国土交通省HP「2040年、道路の景色が変わる」



出典：面白がる会 Facebook



新潟ニュース610
×金よう夜きらっと新潟
＼#古町・#万代スペシャル／

『#新潟大進化』
皆さまからたくさんの投稿をお寄せいただきました！
その数約600件以上！

ありがとうございました！

#nhk新潟 #Negicco #Kaede

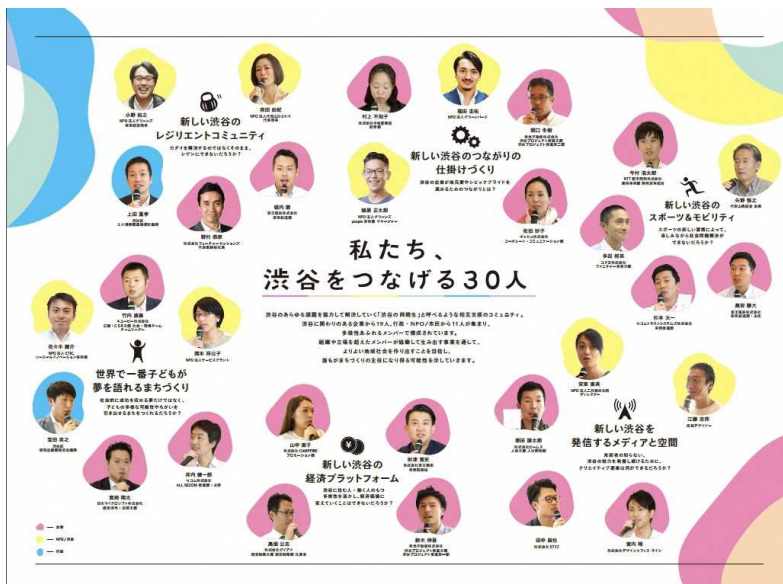
出典：twitter

行政だけでビジョンは創れない。
共に学び、ビジョンを創る仲間が欲しい。

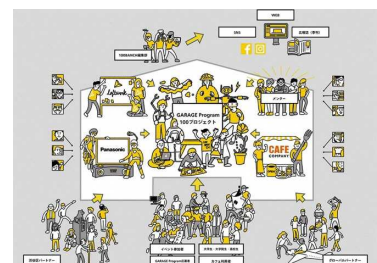
あなたと未来を語りたい

- ・コレクティブインパクト※をにいがた2kmで起こしたい
- ・にいがた2kmのこれからを語り、創るプラットフォームが必要

※特定の社会課題に対し、ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、行政、企業、市民などがセクターを越え、強みやノウハウを持ち寄って、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を目指すアプローチ



出典：shibu30.com 渋谷をつなげる30人（渋谷区）



出典：100BANCH.com 100BANCH（渋谷区、パナソニック）



出典：UNIVERSITY of CREATIVITY（港区、博報堂）

4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針

■ あなたと未来を語りたい

- ・ 本ビジョンをきっかけに**市民等の皆様と語る場**を作っていきたい
- ・ **立場の垣根を越え**つつ、それぞれの**組織の強みを生かし活動を支援**



企業や市民も参加するプラットフォームのイメージ

illustration by Storyset

4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針

【参考】にいがた2kmの将来ビジョンに関する勉強会

- ・国、県、市、NEXCO東日本の若手を中心とした職員有志46名から組織。
- ・にいがた2kmの将来ビジョンを作成することを目的とする。

年	月	取組み
令和2年	11月	当該エリアの呼称決定 「にいがた2km」
	12月	第1回にいがた2kmの将来ビジョンに関する勉強会（以下、勉強会）開催
令和3年	1月	第2回勉強会開催
	2月	第3回勉強会開催
	3月	勉強会の最終成果として発表会開催
	5月～7月	勉強会の幹事会設立 第1回～5回の幹事会（本ビジョンの取りまとめ）を実施
	7月26日	新潟市長へ本ビジョンを手交 「にいがた2km STREET VISION」の公表

【参考】勉強会構成メンバー（46名） ※50音順・所属は成果発表会当時のもの（R3.3）

国（16名）	県（15名）	市（13名）	NEXCO東日本（2名）
北陸地方整備局 一木 慎太郎 三五 彬喜 小林 圭哉 関川 諒 近 崇明 土屋 優斗 新潟国道事務所 川口 洋平 武田 翔汰 佐藤 涼奈 中村 隆幸 柴田 優作 宮 翔 渋谷 譲 矢澤 修一 瀬川 莉子 山根 恭子	知事政策局 佐治 賢 榊湯 晃広 土木部 坂庭 宏樹 常山 文弥 高橋 尚文 吉田 あみ 土木部都市局 佐々木 聡 品田 航也 佐藤 慧介 細川 太地 佐藤 謙太郎 地域振興局 青海 滋貴 佐藤 正宜 梅沢 圭祐 長谷川 真也	都市政策部 安達 友亮 稲葉 一樹 阿部 玲子 鈴木 健太郎 五十嵐 新吾 西澤 暢茂 石黒 慎太郎 樋熊 佑弥 土木部 荒木 亮祐 藤下 真悟 今井 達也 山谷 啓晃 長谷川 喬	新潟支社 小沼 遥佑 星野 正樹

【参考】幹事会構成メンバー（11名） ※50音順・所属は幹事会設立当時のもの（R3.5）

国（3名）	県（3名）	市（3名）	NEXCO東日本（2名）
新潟国道事務所 川口 洋平 藤村 紘行 塚野 亜美	土木部 高橋 尚文 地域振興局 青海 滋貴 佐藤 正宜	都市政策部 稲葉 一樹 西澤 暢茂 土木部 藤下 真悟	新潟支社 小沼 遥佑 星野 正樹

4 ビジョン実現に向けた今後の活動方針

【参考】成果発表会と民間ゲストからのコメント

- ・ 9つの班がそれぞれ将来ビジョンについて発表。
- ・ 民間ゲストの方々から、講評をいただいた。

「にいがた2kmの将来ビジョンに関する勉強会」最終発表会：令和3年3月17日（水）



ゲストコメント※

■ 万代シテイ商店街振興組合 田中栄太郎 専務理事
どの班も個性があって面白いが、公共交通と歩行者優先という目線と、自然を増やそうという目線に関してはどの班も共通している。全員が共感できるようなところを目指し、一步一步進んでいければ。

■ 中央ビルディング（株） 富山聡仁 代表取締役社長
ハード・ソフト両面で、街としての価値が上がっているような、そのような取り組みが出来ると良いのではないかと。

■ MOYORé: 原田智子 マネジャー
ここからがスタートであり、今回のアイディアが少しずつ実現していけば良い。私たちも場所を持っているため、気軽に意見交換が行える場所になれば。

※肩書は成果発表会当時のもの（R3.3）

【参考】中原新潟市長へ本ビジョンを手交・コメント

- ・ 令和3年7月26日（月） 各組織各1名の職員有志から、中原市長へ本ビジョンを手交した。



手交後の中原市長コメント※

新潟駅周辺整備事業に加え、万代島ルートやバスタ整備により都市基盤が大きく変わろうとしている中、道路空間の再編、脱炭素という重要な点で提案をいただいたと捉えている。

今後の「にいがた2km」の取り組みの中で、今回の提言を参考にさせていただく。

※肩書は手交当時のもの（R3.7）

にいがた2km STREET VISION について

本ビジョンには多くの施策案やイメージを掲載していますが、
実施計画や事業を決定・拘束するものではありません。

これらは、有志達の「理想のにいがた2km」や
今後の活動指針とするとともに、ご覧いただいた皆様と一緒に
未来を語り合い、にいがた2kmの未来を創造していく
きっかけとなるよう作成したものです。